

県小学生プログラミング大会

酒井君(3黒崎小年) グランプリ

プログラミングのコンクール「徳島県小学生プログラミング大会」(徳島新聞社主催)の作品発表会と表彰式が4日、北島町高房の徳島新聞印刷センターであり、入賞した8組が表彰された。グランプリは、黒崎小3年の酒井陽向君(8)が



酒井陽向君

選ばれた。

「みんなのみらい」をテーマに、さまざまなアプリやツールを使った28作品が寄せられた。徳島大と鳴門教育大、徳島文理大、四国大の教員ら8人が審査。一次審査を通過した8組が発表会に臨んだ。

発表会では、児童が作品の動画や画像を示しながら、創作のきっかけや工夫した点を説明した。酒井君はセンサー付き電子タグ

「MESH(メッシュ)」を活用し、インコの鳥かごに外敵が近づくと音やメールで飼い主に知らせる仕組みを作製。「プログラミングで困ったことを解決するとみんなの未来が明るくなると思う」と話した。

コンクールは、プログラミング教育の普及と推進を目的に開かれ、今年で2回目。酒井君は、来年3月6日にオンラインで聞く「全国選抜小学生プログラミング大会」(全国新聞社事業協議会主催)に県代表として出場する。(橋本真味)

他の入賞者は次の皆さん。

【準グランプリ】榮晃士朗(大松4年)谷岡拓弥(渋野6年) 【奨励賞】竹内想人(南井上6年)、Team(チーム)サニーガーデン 登佐古悠真(板野東4年) 松本泰知(国府小6年) 坂本行雲(堀江北6年) ほか16人、藤井壮真(福島5年)、松本奏音(城東5年)、豆成柑菜(南井上5年)

◇ 後日詳細を掲載します。